

2023年度 第2四半期 決算

I. 2023年度 上期 決算概要

II. 2023年度 第2四半期 決算概要

III. 2023年度 連結業績予想

IV. 補足資料

シャープ株式会社

2023年11月8日

- ・ 本日はご多忙な中、ご参加頂き ありがとうございます。
また、日頃は、当社の広報活動・IR活動にご協力頂き、
まことにありがとうございます。
- ・ それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

連結業績概要

・ 上期実績

売上高・各利益とも、前年同期には及ばなかったものの、利益は、いずれも、2022年度 下期から大きく改善し、経常利益・最終利益は、黒字となる

・ 第2四半期実績

各利益が前年同期から大幅に改善、営業利益・経常利益は5四半期ぶりに黒字化

・ 通期業績予想

業績が期初の想定内で推移していることから、5月11日に公表した数値を据え置く

SHARP

1

・ まずは、連結業績の概要です。

・ 2023年度 上期の売上高・各利益は、前年同期に及びませんでした。利益については、いずれも2022年度 下期から大きく改善しており、経常利益・最終利益は、黒字となっております。

第2四半期については、堺ディスプレイプロダクト株式会社や通信事業、PC事業などで利益が大きく改善したことから、大幅な増益となっております。これに伴い、営業利益・経常利益は、5四半期ぶりに黒字化しております。

・ 通期の業績予想については、期初の想定内で業績が推移していることから、5月11日の公表値を据え置いております。

I . 2023年度 上期 決算概要

- ・ 最初に、2023年度 上期の実績について、ご説明させていただきます。

2023年度 上期 連結業績概要

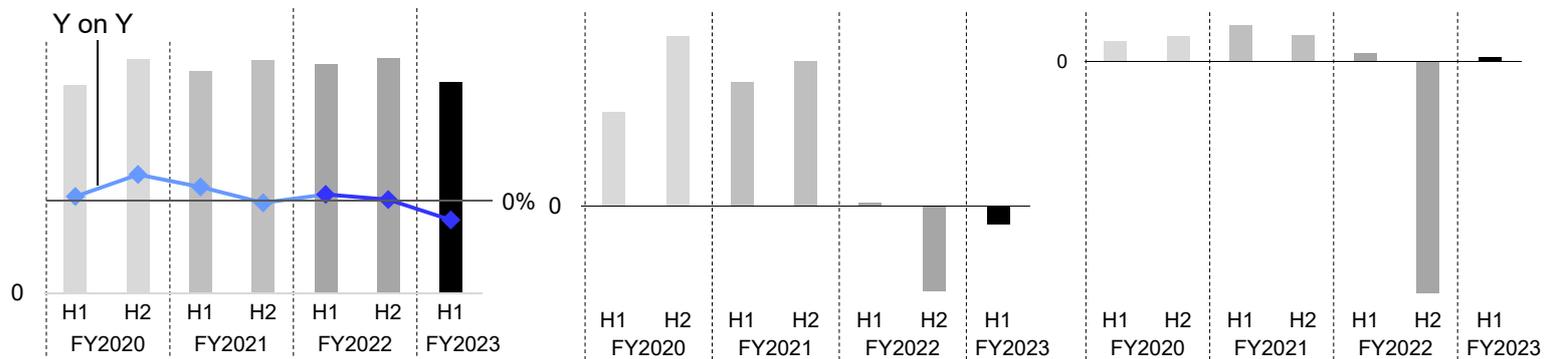
(単位:十億円)

	FY2022			FY2023	
	上期	下期	年間	上期	Y on Y
売上高	1,257.9	1,290.1	2,548.1	1,158.2	-7.9%
営業利益	1.0 (0.1%)	-26.7 (-2.1%)	-25.7 (-1.0%)	-5.8 (-0.5%)	-
経常利益	9.2 (0.7%)	-39.7 (-3.1%)	-30.4 (-1.2%)	3.0 (0.3%)	-67.2%
最終利益	9.4 (0.8%)	-270.2 (-21.0%)	-260.8 (-10.2%)	4.9 (0.4%)	-47.5%
平均為替レート					
ドル円	132.98	135.98	134.48	141.00	
ユーロ円	137.22	141.71	139.46	153.38	

売上高

営業利益

最終利益

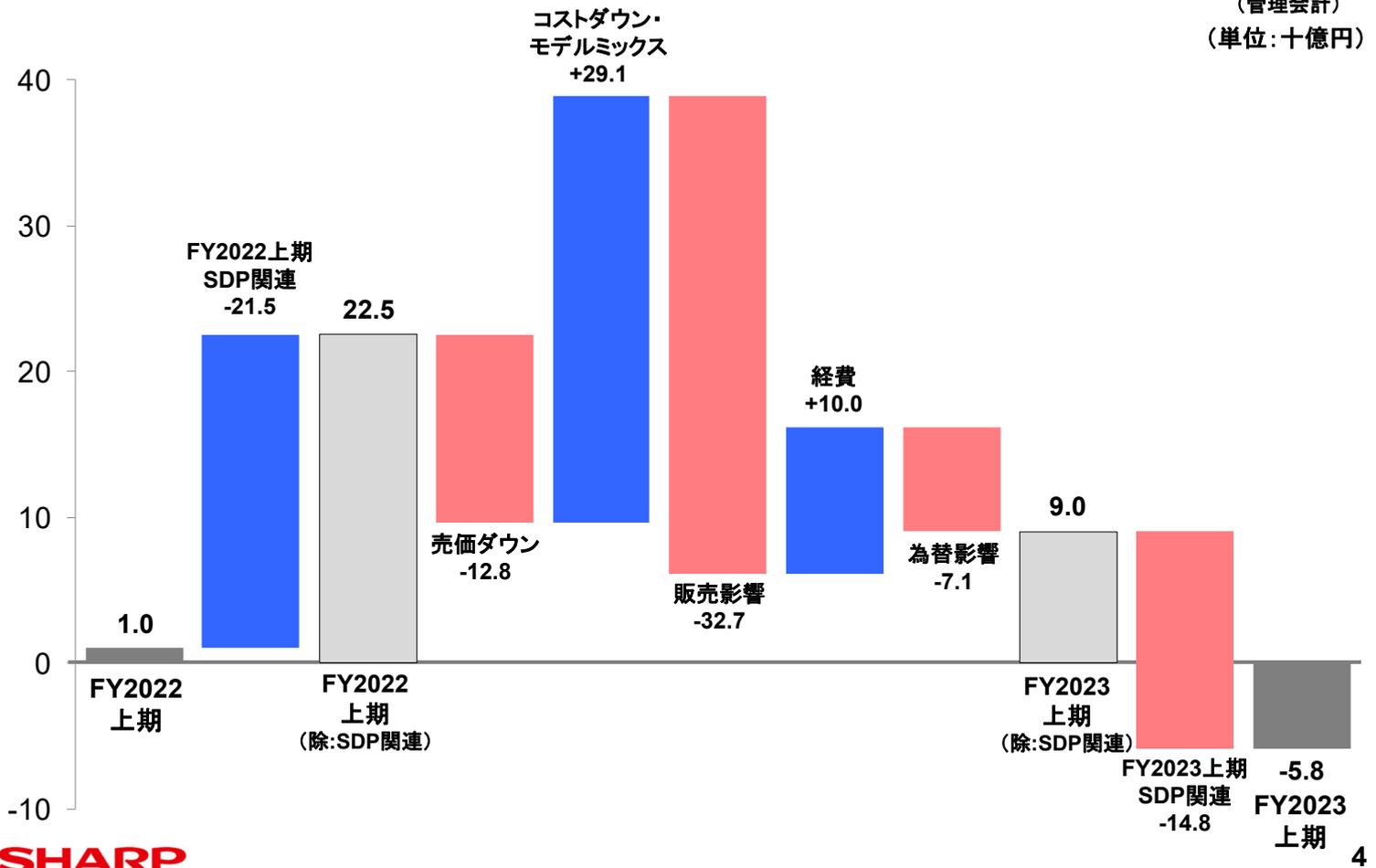


- ・ 次のスライドをご覧ください。2023年度 上期の業績数値です。
- ・ 売上高は、前年同期比 7.9%減の 1兆1,582億円となりました。
- ・ 利益につきましては、
営業利益が 前年同期の10億円の黒字に対し、58億円の赤字、
経常利益が 前年同期比 67.2%減の 30億円の黒字、
最終利益が 前年同期比 47.5%減の 49億円の黒字となっております。

利益は、いずれも、2022年度 下期から大幅に改善しており、
経常利益・最終利益については、黒字化しております。

(上期)営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)
(単位:十億円)



SHARP

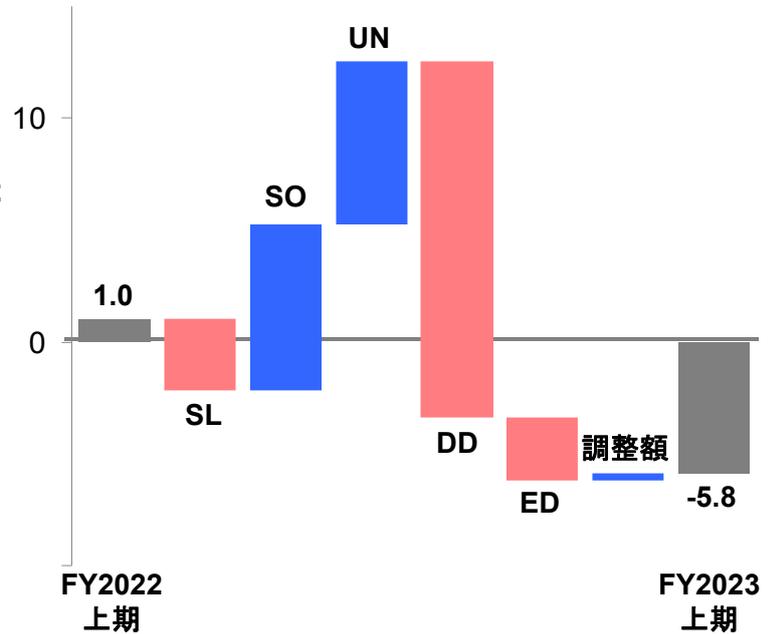
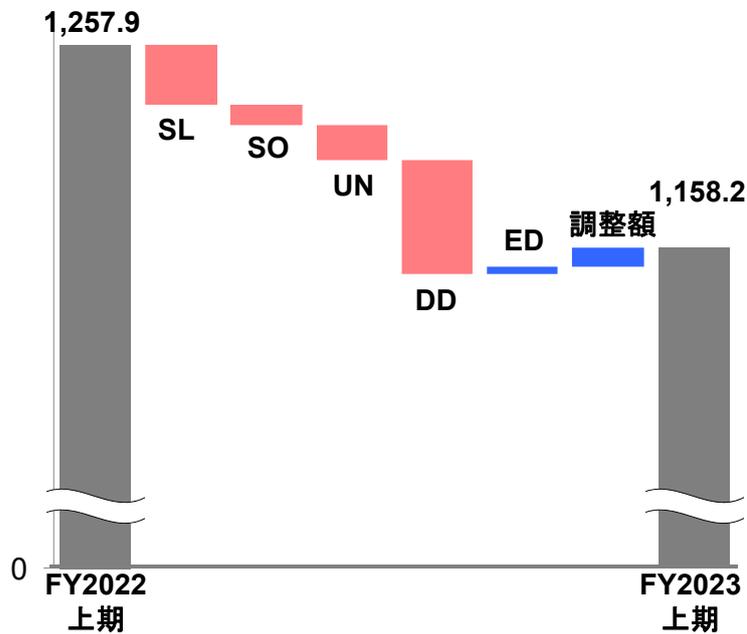
- ・ 次のグラフに、2023年度 上期の営業利益の前年同期に対する増減を要因別にまとめておりますので、ご覧ください。

(上期)セグメント別増減分析(対前年同期)

(単位:十億円)

売上高

営業利益



SHARP

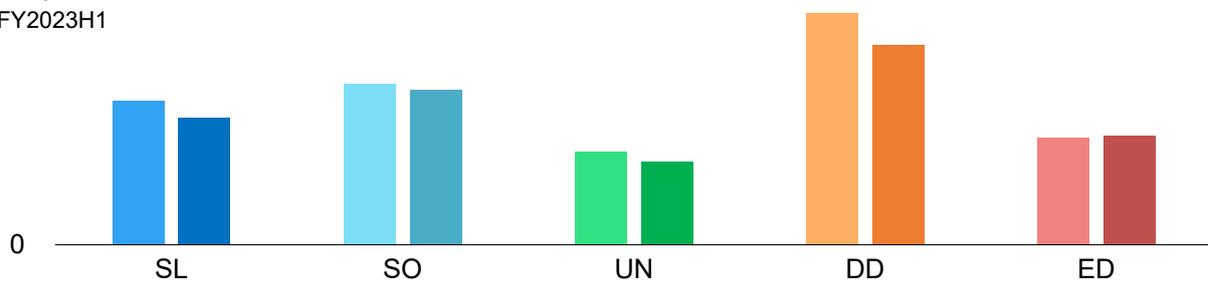
5

- ・ 次のスライドに、前年同期からの売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめております。
- ・ ご覧のように、売上高では、エレクトロニックデバイスが増収となり、営業利益では、スマートオフィスとユニバーサルネットワークが増益となっております。
- ・ セグメントごとの数値は、次ページ以降に記載しておりますので、ご確認ください。

(上期)セグメント別売上高

(単位:十億円)	FY2022			FY2023	
	上期	下期	年間	上期	Y on Y
スマートライフ&エネルギー	252.4	224.3	476.8	223.3	-11.5%
スマートオフィス	281.7	280.0	561.7	271.4	-3.7%
ユニバーサルネットワーク	163.4	170.6	334.1	146.1	-10.6%
ブランド事業	697.7	675.0	1,372.7	640.9	-8.1%
ディスプレイデバイス	406.6	353.3	759.9	350.7	-13.7%
エレクトロニックデバイス	187.8	287.7	475.5	191.4	+1.9%
デバイス事業	594.4	641.1	1,235.5	542.1	-8.8%
小計	1,292.1	1,316.1	2,608.2	1,183.0	-8.4%
調整額	-34.1	-26.0	-60.1	-24.7	-
合計	1,257.9	1,290.1	2,548.1	1,158.2	-7.9%

左棒 : FY2022H1
右棒 : FY2023H1



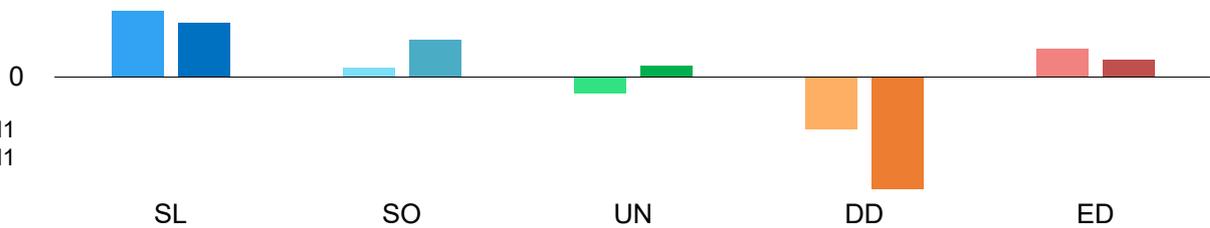
SHARP

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

- ・ 次のスライドは、上期のセグメント別売上高の一覧です。

(上期)セグメント別営業利益

(単位:十億円)	FY2022			FY2023	
	上期	下期	年間	上期	Y on Y
スマートライフ&エナジー	17.4 (6.9%)	11.9 (5.3%)	29.3 (6.2%)	14.2 (6.4%)	-18.0%
スマートオフィス	2.5 (0.9%)	11.9 (4.3%)	14.5 (2.6%)	9.9 (3.7%)	+291.1%
ユニバーサルネットワーク	-4.2 (-2.6%)	-3.5 (-2.1%)	-7.8 (-2.3%)	3.0 (2.1%)	-
ブランド事業	15.7 (2.3%)	20.3 (3.0%)	36.1 (2.6%)	27.2 (4.2%)	+73.1%
ディスプレイデバイス	-13.7 (-3.4%)	-52.7 (-14.9%)	-66.4 (-8.7%)	-29.6 (-8.5%)	-
エレクトロニックデバイス	7.4 (3.9%)	7.3 (2.6%)	14.7 (3.1%)	4.6 (2.4%)	-37.4%
デバイス事業	-6.3 (-1.1%)	-45.3 (-7.1%)	-51.6 (-4.2%)	-25.0 (-4.6%)	-
小計	9.3 (0.7%)	-24.9 (-1.9%)	-15.5 (-0.6%)	2.1 (0.2%)	-76.6%
調整額	-8.3	-1.7	-10.1	-8.0	-
合計	1.0 (0.1%)	-26.7 (-2.1%)	-25.7 (-1.0%)	-5.8 (-0.5%)	-



SHARP

※()内の数字は営業利益率です。

- 次のスライドは、上期のセグメント別 営業利益の一覧になります。

Ⅱ. 2023年度 第2四半期 連結業績概要

- ・ 続いて、2023年度 第2四半期の実績について、ご説明させていただきます。

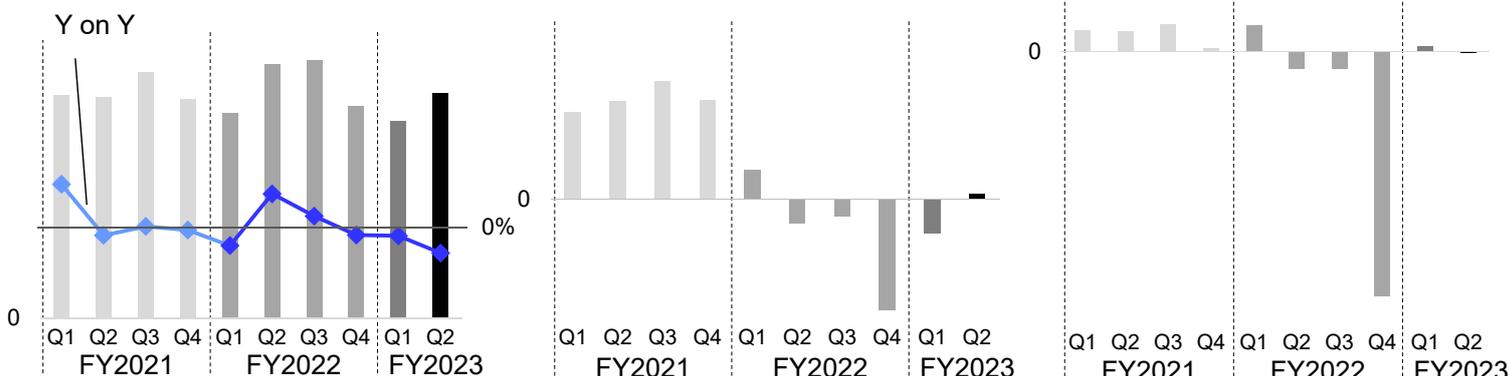
2023年度 第2四半期 連結業績概要

(単位:十億円)	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	562.1	695.8	709.0	581.0	541.2	617.0	-11.3%
営業利益	6.1 (1.1%)	-5.0 (-0.7%)	-3.5 (-0.5%)	-23.1 (-4.0%)	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	-
経常利益	17.4 (3.1%)	-8.2 (-1.2%)	-11.0 (-1.6%)	-28.6 (-4.9%)	-0.5 (-0.1%)	3.5 (0.6%)	-
最終利益	26.9 (4.8%)	-17.4 (-2.5%)	-18.4 (-2.6%)	-251.8 (-43.3%)	5.5 (1.0%)	-0.5 (-0.1%)	-
平均為替レート							
ドル円	128.57	137.38	140.60	131.35	137.37	144.63	
ユーロ円	136.60	137.84	142.81	140.60	149.46	157.29	

売上高

営業利益

最終利益

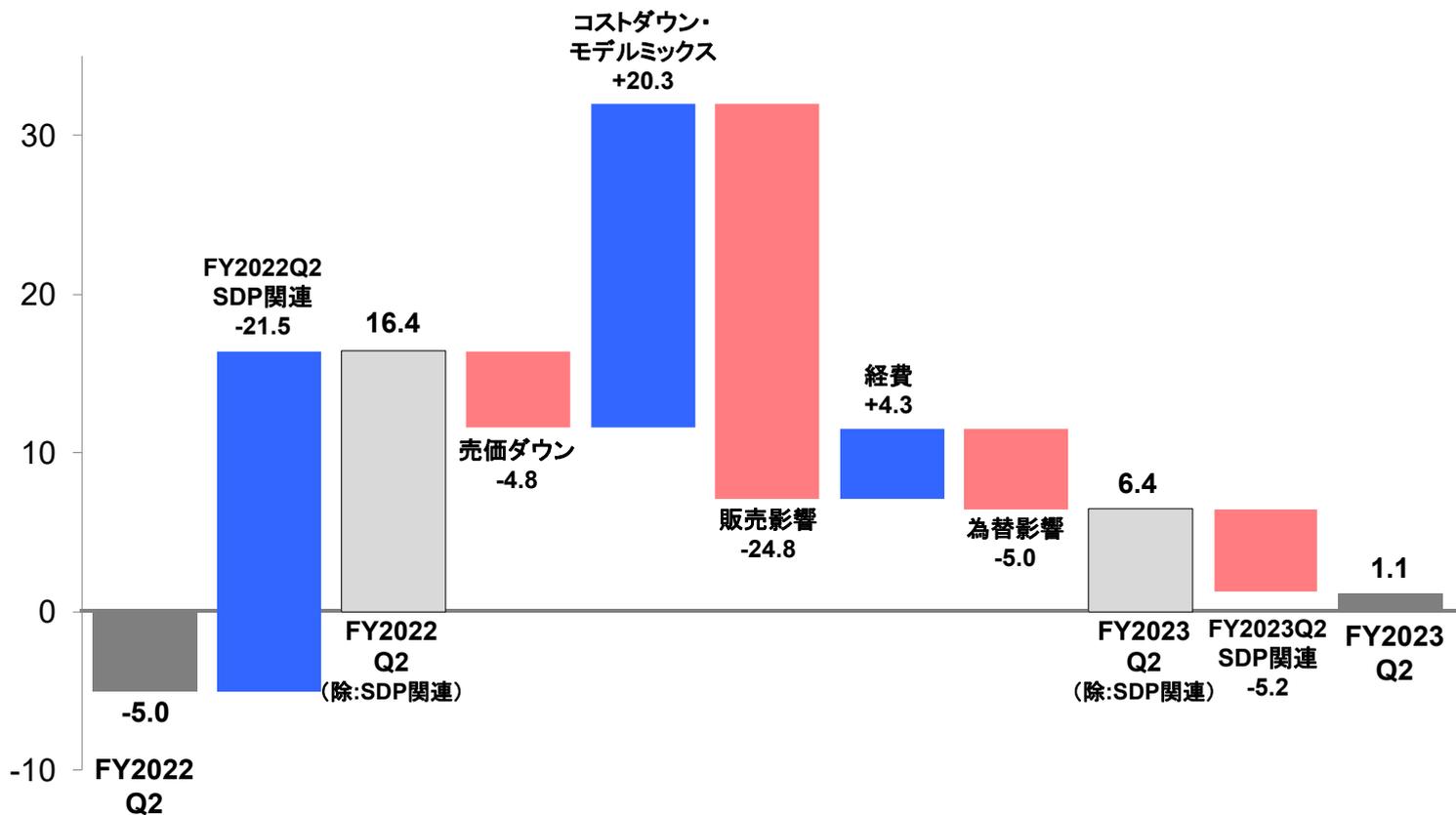


- ・ 次のスライドをご覧ください。2023年度 第2四半期の業績数値です。
- ・ 売上高は、前年同期比 11.3%減の 6,170億円となりました。
- ・ 利益につきましては、
営業利益が、前年同期の50億円の赤字に対し、11億円の黒字、
経常利益が、82億円の赤字に対し、35億円の黒字、
最終利益が、174億円の赤字に対し、5億円の赤字となっております。

各利益とも、前年同期を上回っており、
本業の収支となる営業利益や、経常利益については、
2022年度の第1四半期以来、5四半期ぶりの黒字となっております。

(第2四半期) 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)
(単位:十億円)



SHARP

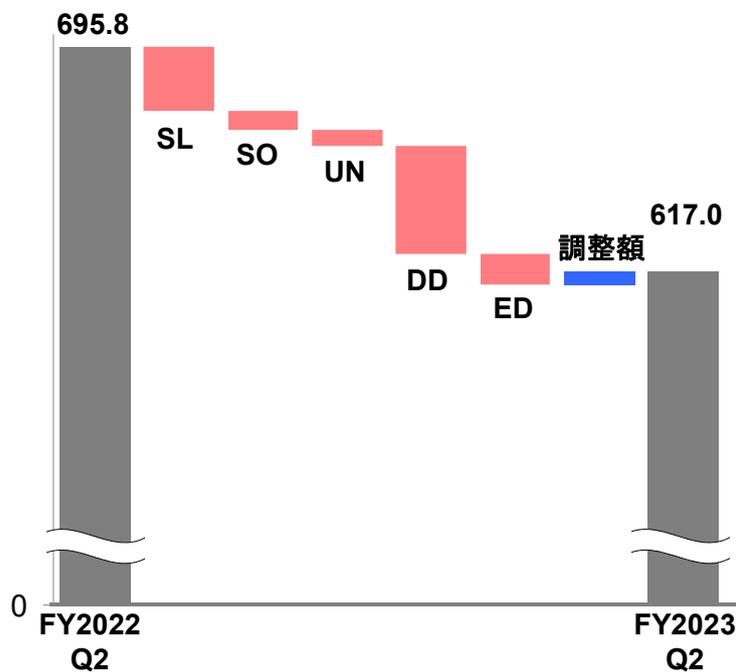
- ・ 次のグラフに、2023年度 第2四半期の営業利益の前年同期に対する増減を要因別にまとめておりますので、ご確認ください。

(第2四半期)セグメント別増減分析(対前年同期)

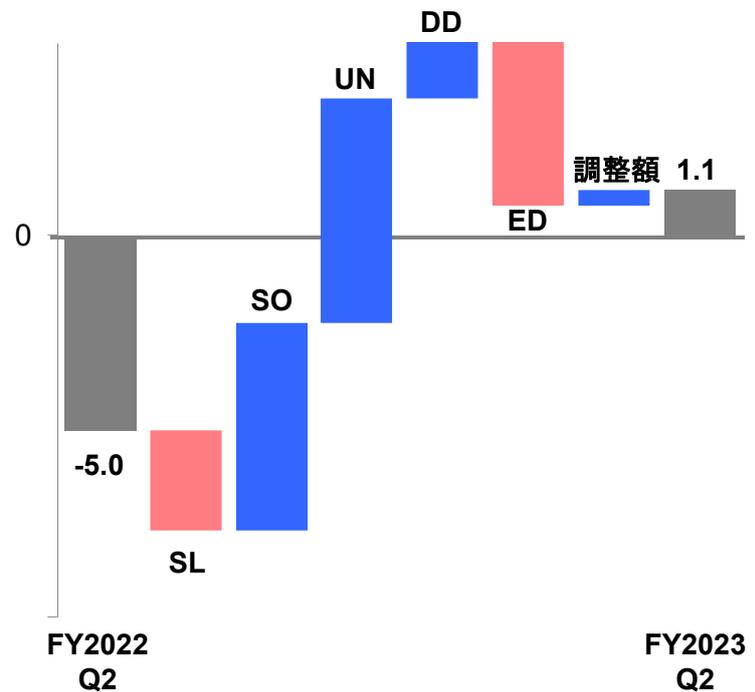
・課題事業であったPC事業・通信事業などで構造改革が進展したこともあり、スマートオフィス・ユニバーサルネットワークの営業利益が大幅に改善

(単位:十億円)

売上高



営業利益

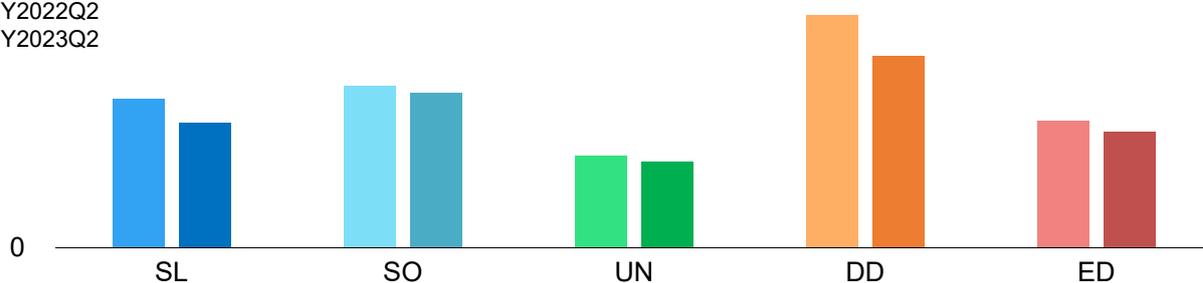


- ・ 次のスライドに、前年同期からの売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめておりますので、ご覧ください。
- ・ 課題事業であったPC事業・通信事業などで構造改革が進展したこともあり、スマートオフィスとユニバーサルネットワークの営業利益が大幅に改善しています。

(第2四半期)セグメント別売上高

(単位:十億円)	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
スマートライフ&エナジー	113.2	139.2	113.6	110.6	106.6	116.6	-16.2%
スマートオフィス	130.2	151.5	132.6	147.3	126.6	144.8	-4.4%
ユニバーサルネットワーク	77.2	86.2	93.7	76.9	65.7	80.3	-6.8%
ブランド事業	320.7	376.9	339.9	335.0	299.0	341.8	-9.3%
ディスプレイデバイス	189.4	217.1	217.8	135.5	171.3	179.4	-17.4%
エレクトロニックデバイス	68.9	118.8	164.4	123.3	83.2	108.1	-9.0%
デバイス事業	258.3	336.0	382.2	258.8	254.5	287.5	-14.4%
小計	579.1	712.9	722.2	593.8	553.6	629.4	-11.7%
調整額	-16.9	-17.1	-13.1	-12.8	-12.3	-12.4	-
合計	562.1	695.8	709.0	581.0	541.2	617.0	-11.3%

左棒：FY2022Q2
右棒：FY2023Q2



SHARP

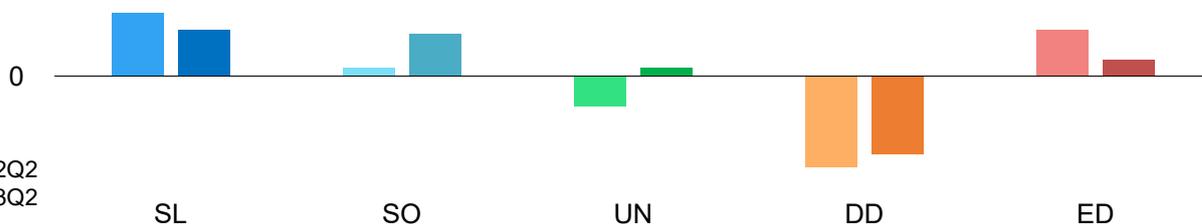
※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

12

- ・ 次は、2023年度 第2四半期のセグメント別 売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は 前年同期比 9.3%減の 3,418億円、デバイス事業は 14.4%減の 2,875億円となりました。

(第2四半期)セグメント別営業利益

(単位:十億円)	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
スマートライフ&エナジー	7.4 (6.6%)	9.9 (7.2%)	6.0 (5.4%)	5.8 (5.3%)	6.9 (6.5%)	7.3 (6.3%)	-26.2%
スマートオフィス	1.1 (0.9%)	1.3 (0.9%)	2.6 (2.0%)	9.3 (6.4%)	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	+394.9%
ユニバーサルネットワーク	0.3 (0.5%)	-4.6 (-5.3%)	-2.3 (-2.5%)	-1.2 (-1.6%)	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)	-
ブランド事業	8.9 (2.8%)	6.7 (1.8%)	6.4 (1.9%)	13.9 (4.2%)	11.7 (3.9%)	15.4 (4.5%)	+128.3%
ディスプレイデバイス	0.6 (0.3%)	-14.4 (-6.6%)	-13.6 (-6.3%)	-39.1 (-28.9%)	-17.3 (-10.1%)	-12.3 (-6.9%)	-
エレクトロニックデバイス	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)	5.9 (3.6%)	1.4 (1.2%)	2.0 (2.5%)	2.5 (2.4%)	-65.6%
デバイス事業	0.6 (0.2%)	-6.9 (-2.1%)	-7.7 (-2.0%)	-37.6 (-14.5%)	-15.2 (-6.0%)	-9.7 (-3.4%)	-
小計	9.6 (1.7%)	-0.2 (-0.0%)	-1.2 (-0.2%)	-23.6 (-4.0%)	-3.4 (-0.6%)	5.6 (0.9%)	-
調整額	-3.4	-4.8	-2.2	0.4	-3.6	-4.4	-
合計	6.1 (1.1%)	-5.0 (-0.7%)	-3.5 (-0.5%)	-23.1 (-4.0%)	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	-



左棒 : FY2022Q2
右棒 : FY2023Q2

SHARP

※()内の数字は営業利益率です。

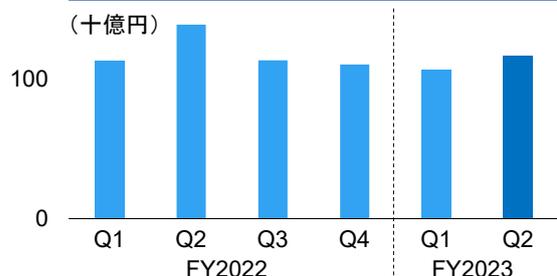
13

- ・ 次のスライドは、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- ・ ブランド事業の営業利益は、前年同期比 128.3%増の 154億円となりました。ご覧のように、ブランド事業の利益率は、改善傾向にあります。

一方、デバイス事業は、前年同期の 69億円の赤字に対し、28億円減の97億円の赤字となっております。

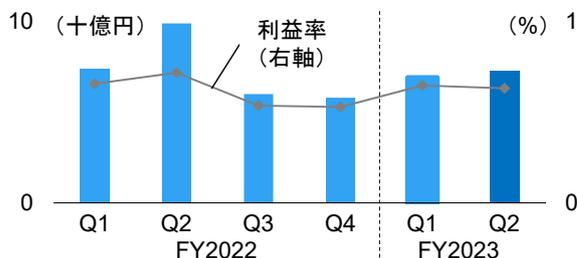
(単位:十億円)	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	113.2	139.2	113.6	110.6	106.6	116.6	-16.2%
営業利益	7.4	9.9	6.0	5.8	6.9	7.3	-26.2%
(利益率)	(6.6%)	(7.2%)	(5.4%)	(5.3%)	(6.5%)	(6.3%)	

売上高(減収)



- (減) 国内の白物家電は大幅な減収
 - ・個人消費が旅行・外食などへシフトし、家電の需要が低迷
 - ・前年度は、中国ロックダウンの影響で、エアコンや洗濯機の販売が第2四半期に集中
- (減) 米国の調理家電市況が悪化
- (減) エネルギーソリューション事業では、EPCが減少
- (増) 新工場立ち上げ効果でASEANのエアコンが伸長

営業利益(減益)



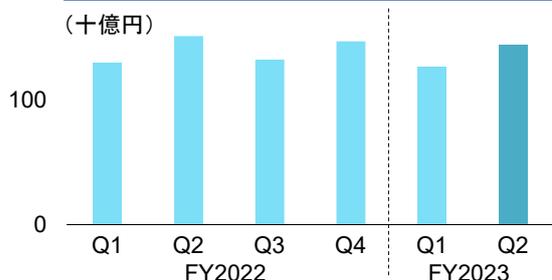
- (減) 販売減の影響
- (減) 円安の進展
- (増) 各事業で高付加価値化が進展



- ・ 次のスライドをご覧ください。セグメントごとの概況になります。まずは、スマートライフ&エナジーです。
- ・ 売上高は、白物家電事業、エネルギーソリューション事業とも減収となり、前年同期比 16.2%減の 1,166億円となりました。
 白物家電事業では、国内の売上が前年同期を大幅に下回りました。個人消費が旅行・外食などへシフトし、家電の需要が低迷したこと、前年度は、中国ロックダウンの影響で、エアコンや洗濯機の販売が第2四半期に集中していたことによるものです。
 一方、海外の白物家電は、米国の調理家電などが市況の影響を受けましたが、インドネシア新工場の立ち上げ効果によりASEANのエアコンが大きく伸長したこともあり、小幅な減収にとどまりました。
 また、エネルギーソリューション事業では、EPCが大幅な減収となりました。
- ・ 営業利益については、各事業で高付加価値化を進めているものの、販売減や円安の影響があり、26.2%減の 73億円となりました。

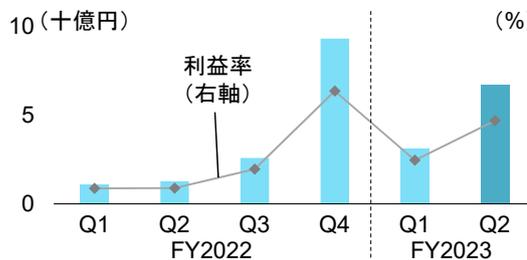
(単位:十億円)	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	130.2	151.5	132.6	147.3	126.6	144.8	-4.4%
営業利益 (利益率)	1.1 (0.9%)	1.3 (0.9%)	2.6 (2.0%)	9.3 (6.4%)	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	+394.9%

売上高(減収)



- (減) 北米などでプロジェクターの需要が低調に推移
- (減) PCの市況が低迷
- (減) 構造改革の一環として、欧州のPC事業から撤退
- (増) MFP事業やオフィスソリューション事業は、欧米を中心に引き続き堅調に推移
- (増) PC事業では、法人向けPremium Mobileモデルの販売を推進

営業利益(増益)



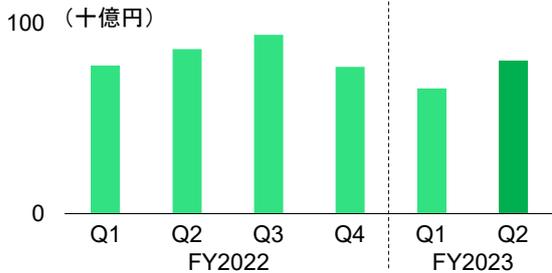
- (増) オフィスソリューション事業の高付加価値化
- (増) MFP事業の販売増
- (増) インフォメーションディスプレイ事業などで構造改革が進展
- (増) 構造改革の効果によりPC事業の利益が大幅に改善



- ・ 次は、スマートオフィスです。
- ・ 売上高は、ビジネスソリューション事業が増収となったもののPC事業が減収となり、前年同期比 4.4%減の 1,448億円となりました。
 ビジネスソリューション事業では、プロジェクターは、北米の需要が低調だったことなどから、減収となりましたが、MFP事業やオフィスソリューション事業が、欧米を中心に伸ばしました。
 一方、PC事業では、法人向けPremium Mobileモデルの販売を進めたものの、構造改革の一環として、欧州市場から撤退したこともあり、市況低迷の影響をカバーすることができませんでした。
- ・ 営業利益は、ビジネスソリューション事業、PC事業ともに大幅な増益となり、394.9%増の 67億円となりました。
 オフィスソリューション事業の高付加価値化が進んだこと、MFP事業が増収となったことに加え、課題であった、インフォメーションディスプレイ事業やPC事業でも構造改革の効果が着実に出ています。

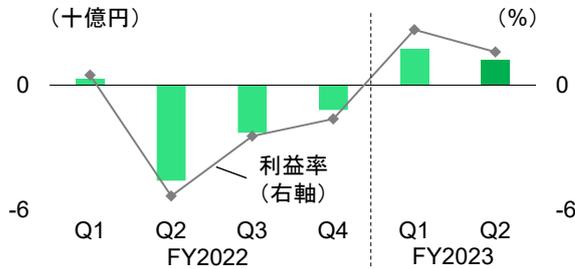
(単位:十億円)	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	77.2	86.2	93.7	76.9	65.7	80.3	-6.8%
営業利益	0.3	-4.6	-2.3	-1.2	1.7	1.2	-
(利益率)	(0.5%)	(-5.3%)	(-2.5%)	(-1.6%)	(2.7%)	(1.6%)	

売上高(減収)



- (減) テレビ事業では、国内需要の回復遅れ、中国での価格競争が影響
- (減) 通信の国内市況が低迷
- (増) テレビ事業で、高付加価値モデルの販売が進展
- (増) 通信事業で、フラッグシップスマートフォンの売上比率が上昇

営業利益(増益)



- (増) 高付加価値化の進展
- (増) 売価アップ
- (増) 構造改革の効果
- (減) 販売減の影響
- (減) 円安の進展



・ 次のスライドは、ユニバーサルネットワークになります。

・ 売上高は、テレビ事業、通信事業とも減収となり、前年同期比 6.8%減の 803億円となりました。

テレビ事業では、高付加価値モデルの販売が進展したものの、国内需要の回復が遅れたこと、中国での価格競争が激しかったことなどが影響しました。

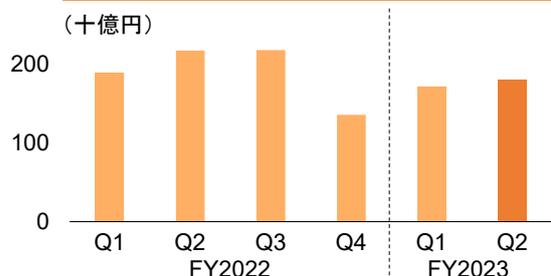
一方、通信事業では、国内市況が低迷した影響を受けましたが、フラッグシップスマートフォンの売上比率は上昇しております。

・ 営業利益については、高付加価値化や売価アップが進展したことから、前年同期の46億円の赤字に対し、58億円改善し、12億円の黒字となりました。

両事業とも収支は改善しており、特に、いち早く構造改革に取り組んできた通信事業については、大幅な増益となっております。

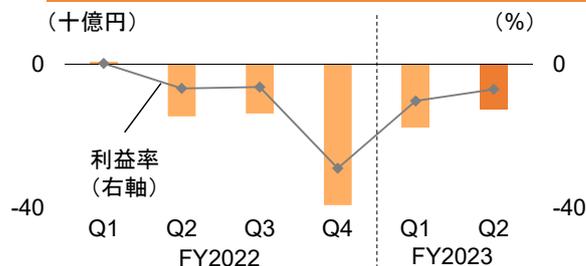
(単位:十億円)	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	189.4	217.1	217.8	135.5	171.3	179.4	-17.4%
営業利益	0.6	-14.4	-13.6	-39.1	-17.3	-12.3	-
(利益率)	(0.3%)	(-6.6%)	(-6.3%)	(-28.9%)	(-10.1%)	(-6.9%)	

売上高(減収)



- (減) スマートフォン向けパネルの需要が低迷
- (減) PC市況の回復遅れによる影響
- (減) 米国などで車載ディスプレイの需要回復に遅れ
- (増) 大型ディスプレイの需要が改善

営業利益(増益)



- (増) 大型ディスプレイの売価回復
- (増) コストダウンの進展
- (増) 経費削減
- (減) 中小型ディスプレイの販売減



・ 次は、ディスプレイデバイスです。

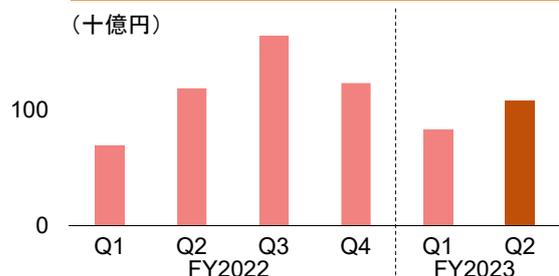
・ 売上高は、前年同期比 17.4%減の 1,794億円となりました。

市況の回復が遅れたスマートフォン向けやPC向けのパネルなどは減収となり、需要が改善した大型ディスプレイなどは増収となりました。

・ 営業利益については、減収となった中小型ディスプレイが減益となったものの、大型ディスプレイの収益が改善したことなどから、赤字額が、前年同期の144億円から123億円まで、21億円減少しております。

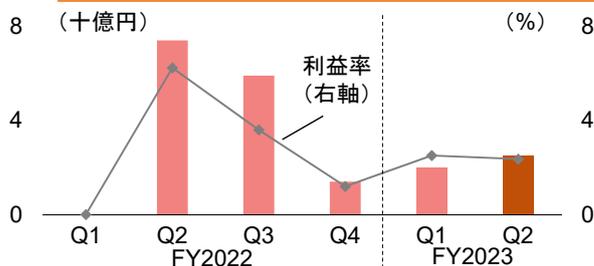
(単位:十億円)	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	68.9	118.8	164.4	123.3	83.2	108.1	-9.0%
営業利益 (利益率)	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)	5.9 (3.6%)	1.4 (1.2%)	2.0 (2.5%)	2.5 (2.4%)	-65.6%

売上高(減収)



(減) センサーモジュールの顧客需要が変動
(減) ディスプレイ需要の低迷によりLCDドライバが減少

営業利益(減益)



(減) 販売減の影響
(増) 経費削減



- ・ 次のスライドは、エレクトロニックデバイスになります。
- ・ 売上高は、
センサーモジュールの顧客需要が変動した影響があったこと、
ディスプレイ需要の低迷によりLCDドライバが減少したことなどから、
9.0%減の 1,081億円となりました。
- ・ 営業利益は、経費削減を進めたものの、減収となったことから、
前年同期比 65.6%減の 25億円となりました。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)

	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y 増減額
営業利益	6.1	-5.0	-3.5	-23.1	-7.0	1.1	+6.1
営業外損益	+11.3	-3.1	-7.5	-5.4	+6.5	+2.3	+5.4
内:支払利息	-0.9	-2.6	-2.9	-2.7	-2.9	-2.6	-
為替差損益	+13.0	+5.7	-1.1	-0.3	+6.2	+2.9	-2.8
投資関連収益・費用	+4.1	+1.5	+0.8	+0.2	+0.2	+0.3	-1.2
持分法による投資損益	-5.1	-6.9	-5.7	-2.5	+1.3	+2.4	+9.3
経常利益	17.4	-8.2	-11.0	-28.6	-0.5	3.5	+11.7
特別損益	+12.2	-1.3	+3.3	-222.7	+9.3	-0.9	+0.4
内:固定資産売却益	+0.9	+1.0	+4.7	+0.4	+0.5	+2.0	+1.0
段階取得に係る差益	+12.4	-	-	-	+1.3	-	-
持分変動利益	+0.2	-	-	-	+4.2	-	-
債務取崩益	-	-	-	-	+4.8	-	-
事業構造改革費用	-	-1.0	-0.3	-3.0	-	-0.6	+0.4
減損損失	-	-	-0.5	-219.9	-1.4	-1.8	-1.8
訴訟損失引当金繰入額	-1.4	-0.8	+0.2	-0.0	-	-	+0.8
税前利益	29.6	-9.6	-7.6	-251.4	8.8	2.6	+12.2
法人税等 他	-2.7	-7.8	-10.7	-0.4	-3.2	-3.2	+4.6
最終利益	26.9	-17.4	-18.4	-251.8	5.5	-0.5	+16.9

SHARP

19

- ・ 次のスライドは、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ ご覧のように、2023年度 第2四半期は、大きな営業外損益・特別損益がありませんでした。

連結貸借対照表推移

・2023年度 第2四半期末の現預金は 2,490億円、純資産は 2,870億円、自己資本比率は 14.7%となる

(単位:十億円)

	FY2022	FY2023			FY2022	FY2023	
	3月末	6月末	9月末		3月末	6月末	9月末
現預金	262.0	209.0	249.0	買掛金等	371.8	372.3	426.1
売掛金等	438.0	425.6	485.0	短期借入金	163.8	177.7	198.4
棚卸資産	299.3	307.3	302.9	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	87.6	94.8	86.4	その他	346.7	336.0	355.0
流動資産計	1,087.0	1,036.9	1,123.4	流動負債計	882.5	886.2	979.6
有形固定資産	389.2	395.0	394.9	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	35.8	39.9	37.8	長期借入金	542.7	467.0	456.1
投資その他資産	260.7	282.4	294.2	その他	125.3	128.4	127.6
固定資産計	685.8	717.4	727.0	固定負債計	668.0	595.5	583.7
資産合計	1,772.9	1,754.3	1,850.4	純資産	222.3	272.5	287.0
				負債純資産合計	1,772.9	1,754.3	1,850.4
期末日レート							
ドル円	132.54	144.99	149.58	自己資本比率	11.8%	14.7%	14.7%
ユーロ円	144.22	157.56	157.97	自己資本	208.4	258.3	272.3

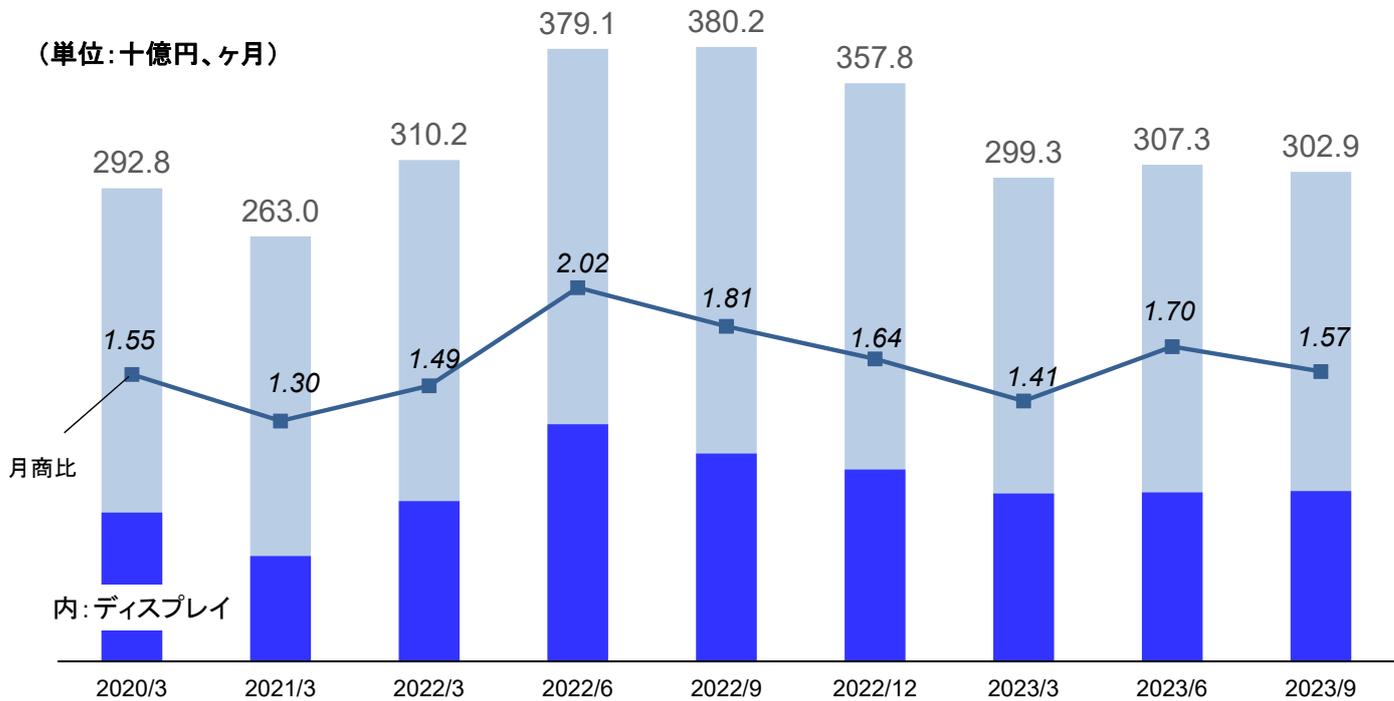
SHARP

20

- ・ 続いては、貸借対照表の推移です。
- ・ 「現預金」は、2023年6月末の 2,090億円に対し、2,490億円に、
「純資産」は 2,725億円に対し、2,870億円に、
「自己資本比率」は、6月末と同じ 14.7%になっております。

棚卸資産の推移

・棚卸資産は、6月末から減少しており、今後の販売計画に沿った適正水準



※会計基準の変更があったため、2021/3以前は基準が異なる

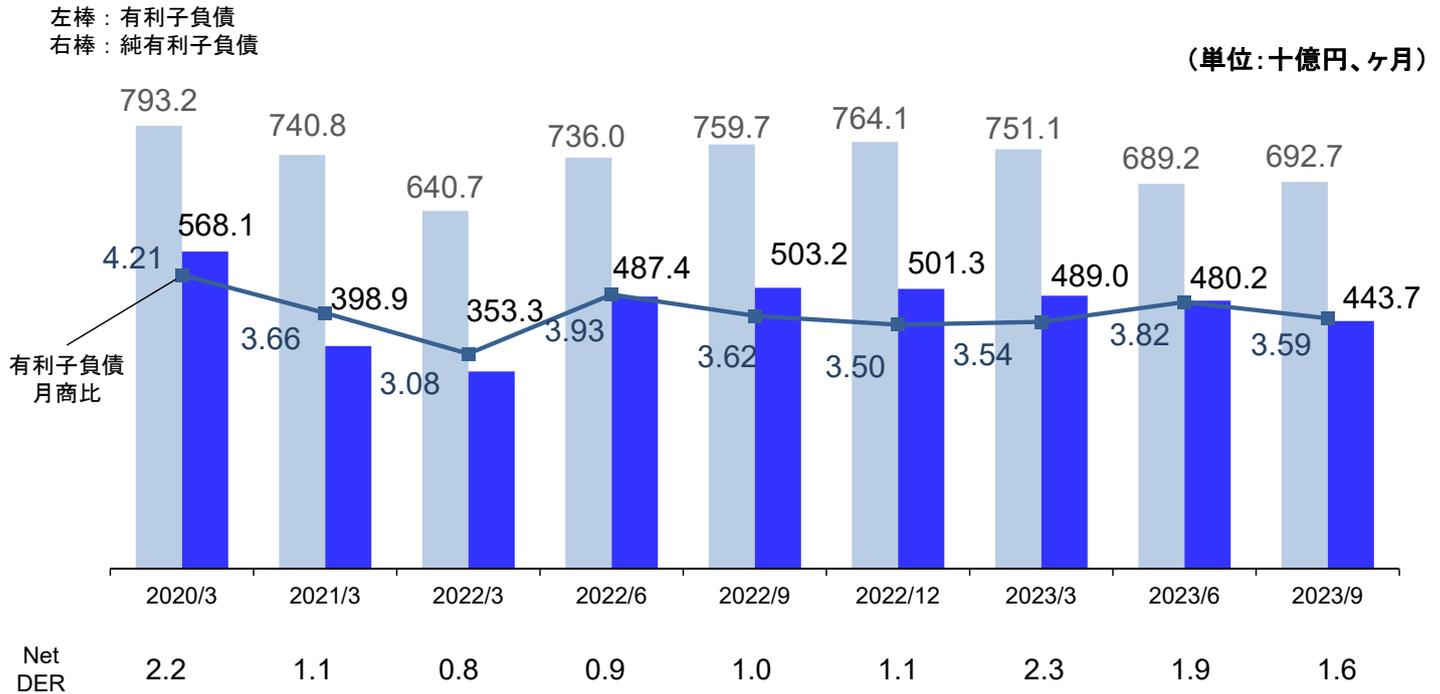
SHARP

21

- ・ 次のスライドをご覧ください。棚卸資産の推移になります。
- ・ 2023年9月末の棚卸資産は、2023年6月末比 44億円減の3,029億円で、今後の販売計画に沿った適正水準となっております。
- ・ 今後とも状況の変化を注視し、適正な在庫の管理に努めてまいります。

有利子負債の推移

・純有利子負債は、6月末の4,802億円から365億円減少し、4,437億円になる



SHARP

※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

22

- ・ 次のスライドは、有利子負債の推移です。
- ・ 純有利子負債は、6月末の4,802億円から 365億円減少し 4,437億円となっております。

Ⅲ. 2023年度 連結業績予想

- ・最後に、2023年度の連結業績予想です。

2023年度 連結業績予想

・業績が期初の想定内で推移していることから、5月11日に公表した数値を据え置く

(単位:十億円)

	FY2022	FY2023	
	通期	通期予想	Y on Y
売上高	2,548.1	2,560.0	+0.5%
営業利益 (利益率)	-25.7 (-1.0%)	40.0 (1.6%)	-
経常利益 (利益率)	-30.4 (-1.2%)	39.0 (1.5%)	-
最終利益 (利益率)	-260.8 (-10.2%)	10.0 (0.4%)	-
平均為替レート		(下期予想)	
ドル円	134.48	145.00	
ユーロ円	139.46	155.00	

SHARP

24

- ・ 次のスライドをご覧ください。
- ・ 業績が期初の想定内で推移していることから、
通期の業績予想については、5月11日に公表した数値を据え置いております。

SHARP TECH-DAY

テーマ	Be a Game Changer - Game-changing technologies transforming our future -
開催期間	2023年 11月10日（金） 13:00～18:00 11月11日（土） 10:00～18:00 11月12日（日） 10:00～16:00
開催場所	東京ビッグサイト（東京国際展示場）東8ホール （東京都江東区有明3-11-1）
入場料	無料
参加方法	特設ウェブサイトから参加登録 (https://corporate.jp.sharp/techday/)



SHARP

25

- ・ 次のスライドをご覧ください。
- ・ 11月10日から12日までの3日間、東京ビッグサイトで、
当社の革新技术を紹介する「SHARP TECH-DAY」を開催いたします。

テクノロジーパートナー企業とも連携のもと、
世の中の革新につながる製品・サービス群を体感いただけます。
どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。

ご清聴ありがとうございました。

IV. 補足資料

連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2022			FY2023		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,257.9	1,290.1	2,548.1	1,158.2	1,401.8	2,560.0
営業利益	1.0	-26.7	-25.7	-5.8	45.8	40.0
(利益率)	(0.1%)	(-2.1%)	(-1.0%)	(-0.5%)	(3.3%)	(1.6%)
経常利益	9.2	-39.7	-30.4	3.0	36.0	39.0
(利益率)	(0.7%)	(-3.1%)	(-1.2%)	(0.3%)	(2.6%)	(1.5%)
最終利益	9.4	-270.2	-260.8	4.9	5.1	10.0
(利益率)	(0.8%)	(-21.0%)	(-10.2%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.4%)

SHARP

S-2

四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2022				FY2023	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	562.1	695.8	709.0	581.0	541.2	617.0
営業利益	6.1	-5.0	-3.5	-23.1	-7.0	1.1
(利益率)	(1.1%)	(-0.7%)	(-0.5%)	(-4.0%)	(-1.3%)	(0.2%)
経常利益	17.4	-8.2	-11.0	-28.6	-0.5	3.5
(利益率)	(3.1%)	(-1.2%)	(-1.6%)	(-4.9%)	(-0.1%)	(0.6%)
最終利益	26.9	-17.4	-18.4	-251.8	5.5	-0.5
(利益率)	(4.8%)	(-2.5%)	(-2.6%)	(-43.3%)	(1.0%)	(-0.1%)

SHARP

S-3

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2022			FY2023
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ&エナジー	252.4	224.3	476.8	223.3
スマートオフィス	281.7	280.0	561.7	271.4
ユニバーサルネットワーク	163.4	170.6	334.1	146.1
ブランド事業	697.7	675.0	1,372.7	640.9
ディスプレイデバイス	406.6	353.3	759.9	350.7
エレクトロニックデバイス	187.8	287.7	475.5	191.4
デバイス事業	594.4	641.1	1,235.5	542.1
小計	1,292.1	1,316.1	2,608.2	1,183.0
調整額	-34.1	-26.0	-60.1	-24.7
合計	1,257.9	1,290.1	2,548.1	1,158.2

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-4

セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2022			FY2023
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ&エナジー	17.4 (6.9%)	11.9 (5.3%)	29.3 (6.2%)	14.2 (6.4%)
スマートオフィス	2.5 (0.9%)	11.9 (4.3%)	14.5 (2.6%)	9.9 (3.7%)
ユニバーサルネットワーク	-4.2 (-2.6%)	-3.5 (-2.1%)	-7.8 (-2.3%)	3.0 (2.1%)
ブランド事業	15.7 (2.3%)	20.3 (3.0%)	36.1 (2.6%)	27.2 (4.2%)
ディスプレイデバイス	-13.7 (-3.4%)	-52.7 (-14.9%)	-66.4 (-8.7%)	-29.6 (-8.5%)
エレクトロニックデバイス	7.4 (3.9%)	7.3 (2.6%)	14.7 (3.1%)	4.6 (2.4%)
デバイス事業	-6.3 (-1.1%)	-45.3 (-7.1%)	-51.6 (-4.2%)	-25.0 (-4.6%)
小計	9.3 (0.7%)	-24.9 (-1.9%)	-15.5 (-0.6%)	2.1 (0.2%)
調整額	-8.3	-1.7	-10.1	-8.0
合計	1.0 (0.1%)	-26.7 (-2.1%)	-25.7 (-1.0%)	-5.8 (-0.5%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-5

四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2022				FY2023	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
スマートライフ&エナジー	113.2	139.2	113.6	110.6	106.6	116.6
スマートオフィス	130.2	151.5	132.6	147.3	126.6	144.8
ユニバーサルネットワーク	77.2	86.2	93.7	76.9	65.7	80.3
ブランド事業	320.7	376.9	339.9	335.0	299.0	341.8
ディスプレイデバイス	189.4	217.1	217.8	135.5	171.3	179.4
エレクトロニックデバイス	68.9	118.8	164.4	123.3	83.2	108.1
デバイス事業	258.3	336.0	382.2	258.8	254.5	287.5
小計	579.1	712.9	722.2	593.8	553.6	629.4
調整額	-16.9	-17.1	-13.1	-12.8	-12.3	-12.4
合計	562.1	695.8	709.0	581.0	541.2	617.0

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-6

四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2022				FY2023	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
スマートライフ&エナジー	7.4 (6.6%)	9.9 (7.2%)	6.0 (5.4%)	5.8 (5.3%)	6.9 (6.5%)	7.3 (6.3%)
スマートオフィス	1.1 (0.9%)	1.3 (0.9%)	2.6 (2.0%)	9.3 (6.4%)	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)
ユニバーサルネットワーク	0.3 (0.5%)	-4.6 (-5.3%)	-2.3 (-2.5%)	-1.2 (-1.6%)	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)
ブランド事業	8.9 (2.8%)	6.7 (1.8%)	6.4 (1.9%)	13.9 (4.2%)	11.7 (3.9%)	15.4 (4.5%)
ディスプレイデバイス	0.6 (0.3%)	-14.4 (-6.6%)	-13.6 (-6.3%)	-39.1 (-28.9%)	-17.3 (-10.1%)	-12.3 (-6.9%)
エレクトロニックデバイス	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)	5.9 (3.6%)	1.4 (1.2%)	2.0 (2.5%)	2.5 (2.4%)
デバイス事業	0.6 (0.2%)	-6.9 (-2.1%)	-7.7 (-2.0%)	-37.6 (-14.5%)	-15.2 (-6.0%)	-9.7 (-3.4%)
小計	9.6 (1.7%)	-0.2 (-0.0%)	-1.2 (-0.2%)	-23.6 (-4.0%)	-3.4 (-0.6%)	5.6 (0.9%)
調整額	-3.4	-4.8	-2.2	0.4	-3.6	-4.4
合計	6.1 (1.1%)	-5.0 (-0.7%)	-3.5 (-0.5%)	-23.1 (-4.0%)	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-7

設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	FY2022			FY2023		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
設備投資	20.5	23.9	44.5	22.3	37.7	60.0
内:ディスプレイ	4.2	9.9	14.2	10.3	15.0	25.3
減価償却費	38.0	46.2	84.2	29.2	35.8	65.0
研究開発費	39.9	38.7	78.7	36.7	48.3	85.0

(単位:円)

平均為替レート	FY2022			FY2023	
	上期	下期	通期	上期	下期
米ドル	132.98	135.98	134.48	141.00	145.00
ユーロ	137.22	141.71	139.46	153.38	155.00

四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	FY2022				FY2023	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
設備投資	5.0	15.5	12.3	11.6	8.9	13.3
内:ディスプレイ	0.9	3.3	4.7	5.2	4.0	6.3
減価償却費	15.6	22.3	22.9	23.2	14.1	15.1
研究開発費	18.7	21.1	20.4	18.3	17.6	19.1

(単位:円)

平均為替レート	FY2022				FY2023	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
米ドル	128.57	137.38	140.60	131.35	137.37	144.63
ユーロ	136.60	137.84	142.81	140.60	149.46	157.29

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※最終利益(損失)・・・

親会社株主に帰属する当期純利益(損失) または、親会社株主に帰属する四半期純利益(損失)

※開示セグメント及び略号

スマートライフ&エナジー(SL)、スマートオフィス(SO)、ユニバーサルネットワーク(UN)、

ディスプレイデバイス(DD)、エレクトロニックデバイス(ED)

SHARP

SHARP

Be Original.

